



平成27年度  
こどもエコクラブ全国フェスティバル2016  
～みんなで決める☆こどもエコクラブ大賞！～  
実施報告書

## はじめに

こどもエコクラブは、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育み、地域の環境活動の環を広げることを目的として1995年にスタートしました。昨年20周年という節目の年を迎え、大人になったかつての子どもたちが、こどもエコクラブの活動を通じて培った力を地域のまちづくりに発揮しはじめています。

2015年度は、全国で2,127クラブ、122,129人の幼児から高校生までの子どもたちが、それぞれの地域に根ざした環境活動を行い、2016年3月に1年間の活動の締めくくりとして、こどもエコクラブ全国フェスティバルを開催しました。参加した子どもたちは、活動をまとめた壁新聞や絵日記をもとに日々の活動などを発表して交流を深めるとともに、自分たちの視点で「こどもエコクラブ大賞」のクラブを選びました。また、企業・団体展示コーナーを見学して企業・団体の環境への取り組みについて楽しく考える機会を持ちました。本フェスティバルには、こどもエコクラブのOB・OGからなるAll Japan Youth Eco-clubのメンバーが参加し、当日のプログラムを企画・運営したり、後輩メンバーたちにメッセージを贈ったりしました。これらの経験は、子どもたちの励みや成長を促し、子どもたちを通じて多くの方々にも伝わっていくことと思います。

本報告書は、全国フェスティバルの様子をまとめたものです。こどもエコクラブをご理解いただき、今後の連携・協働を進める上で、ご参考になれば幸いです。

## 目次

開催概要	3	表彰式	11
プログラム	4	受賞作品一覧	12
オープニングセレモニー	5	幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与	15
交流タイム	5	クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定	16
こどもエコクラブ大賞 予選	5	先輩からのメッセージ	16
絵日記受賞メンバー ディスカッションとスペシャル授業	6	クロージングセレモニー	17
企業・団体の環境への取り組みを見てみよう!	7	子どもたちからの活動レポート	18
こどもエコクラブ大賞 本選	9	サポーターからの声	18
来賓の挨拶	11	代表クラブ一覧	19
		広報・普及活動	20

## 開催概要

- イベント名:「こどもエコクラブ全国フェスティバル2016 ～みんなで決める☆こどもエコクラブ大賞!～」
- 実施目的:熱心に活動をしている全国各地のこどもエコクラブの子どもたちが集い、環境活動の紹介を通じて相互の交流を深めるとともに、これらの情報を広く発信することにより、こどもエコクラブの活動の活性化及び本事業への理解と参加促進を図ります。

### 称える

活動発表や展示の機会を設け、一年間のがんばりを称え合う。

### 交わる

全国で活動する仲間(子ども・大人)の交わり場を提供する。

### 知る

様々な体験学習を通じて新しい発見を得る。

### 広める

「こどもエコクラブ」事業への理解と参加を広く呼びかける。

- 開催日 : 2016年3月20日(日)
- 会場 : 早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学術院 63号館(東京都新宿区大久保三丁目4-1)
- 主催 : 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
- 後援 : 環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、公益社団法人こども環境学会、全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 出展企業・団体:  
株式会社イトーキ、株式会社エフピコ、王子ホールディングス株式会社、トヨタ自動車株式会社、文化シヤッター株式会社、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、株式会社ミールケア、三井化学株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、三井不動産株式会社、ライオン株式会社、エコマーク事務局
- 協力 : 井筒まい泉株式会社、株式会社タカラトミー、東京都水道局、株式会社ニコン、三菱電機株式会社株式会社龍角散
- 参加者 : 558名
  - ・都道府県代表クラブ:349名(子ども205名、大人144名)
  - ・審査員推薦クラブ:19名(子ども10名、大人9名)
  - ・絵日記受賞メンバー:36名(子ども14名、大人22名)
  - ・一般クラブ:12名(子ども3名、大人9名)
  - ・こどもエコクラブ自治体担当者:15名
  - ・企業・団体担当者:63名
  - ・関係者:64名

#### ○都道府県代表クラブ

1年間の活動等をまとめた壁新聞をもとに、選考委員会にて選ばれた各都道府県の代表クラブ

#### ○審査員推薦クラブ

都道府県代表に惜しくも届かなかったものの、それと同等として審査員の推薦を得たクラブ

#### ○絵日記受賞メンバー

1年間で印象に残った活動等を描いた絵日記をもとに、選考委員会にて選ばれた優秀賞受賞メンバー

プログラム

時 間	プログラム	展 示
9:15～ 10:00	◆集合、受付	
10:00～10:05	◆オープニングセレモニー はじまりのあいさつ 司会:おうめこどもエコクラブ、大分県立大分東高等学校リボベジ研究会	
10:05～10:35	◆交流タイム「ともだち なんにん できるかな!？」 時間内にできるだけたくさんの仲間と名刺交換して、交流を深めよう!	
10:35～12:00	◆こどもエコクラブ大賞 予選 6つのチームに分かれて、壁新聞をもとにクラブの活動を発表しあい、チーム内で投票してチーム No.1 クラブを決定 ◆絵日記チーム:絵日記を描いた仲間とのディスカッションとワークショップを実施	
12:00～12:15	◆企業・団体の紹介 ・こどもエコクラブを応援している企業・団体を紹介 ・企業・団体ブースで展示している環境に優しい取り組み内容の紹介	・全国から届いた壁新聞と絵日記の展示
12:15～13:35	◆昼食 ◆企業団体の環境への取り組みを学ぼう	
13:35～13:45	◆集合写真撮影	
14:00～15:00	◆こどもエコクラブ大賞 本選 予選でチーム代表選ばれた6つのクラブがステージで活動発表。参加者全員が一人一票投票し、「こどもエコクラブ大賞」を決定	・活動フォトコンテスト受賞作品展示・年間賞投票
15:10～15:15	◆来賓挨拶 環境省 総合環境政策局長 三好 信俊 様	
15:15～15:35	◆表彰式 【壁新聞部門】 環境大臣賞:青森県弘前市「HEP21 エコクラブ」 文部科学大臣賞:沖縄県竹富町「西表ヤマネコクラブ」 日本環境協会賞:福岡県筑紫野市「エコまめクラブ」 三井住友銀行賞:熊本県水俣市「水俣市立第二中学校 環境 ISO 委員会」 朝日新聞社賞:栃木県真岡市「真岡児童館やさしクラブ」 早稲田大学賞:北海道釧路市「こどもエコクラブくしろ」 エコマーク賞:高知県香美市「香美市こどもエコクラブ みどレンジャー」 【幼児部門】ミールケア・エコまる賞: 栃木県宇都宮市「東峰エコキッズ」 千葉県佐倉市「さくらほいくえん つきぐみ スマイルクラブ」 【絵日記部門】優秀賞: 羽石 春花さん(栃木県宇都宮市「東峰エコキッズ」) 高村 謙司郎さん(静岡県御殿場市「YKM」) 高村 百合子さん(静岡県御殿場市「YKM」) 笹本 千騎さん(愛知県長久手市「もりの学舎キッズクラブ(2015年度)」) 佐桑 幹太さん(岡山県岡山市「岡山ハッケンジャー」) 三國 蘭花さん(鳥取県米子市「YONAGO ジャングルエコ探検」) 武藤 あみさん(熊本県水俣市「水俣第一小学校こどもエコクラブ」) 【活動フォトコンテスト年間賞】 平成27年度こどもエコクラブ賞:大阪府大阪市「せいわエコクラブ」 平成27年度ニコン賞:愛知県豊明市「豊明エコキッズ」	・こどもエコクラブ応援企業・団体一覧 ・All Japan Youth Eco-club 活動紹介 ・早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス活動紹介 ・東京都市大学伊坪研究室紹介
15:35～15:45	先輩からのメッセージ All Japan Youth Eco-club のメンバーが子どもたちへメッセージを贈りました。	
15:45～16:00	クロージングセレモニー ・こどもエコクラブ大賞の発表・表彰: 鹿児島県鹿児島市「イオン鹿児島店チアーズクラブ」 ・一日のふりかえり ・こどもエコクラブ憲章の読み上げと閉会の挨拶	

## オープニングセレモニー

こどもエコクラブはメンバー(子ども)が主役！全国フェスティバルもメンバーが進行します。今年は、東京都の代表クラブに選ばれた「おうめこどもエコクラブ」と大分県の代表クラブ「大分県立大分東高等学校リボベジ研究会」のメンバーが司会として、全国から集まった仲間たちを元気に迎えました。

各都道府県の代表クラブや絵日記受賞メンバー等 558 名が集まった早稲田大学西早稲田キャンパスには、こどもエコクラブの人気キャラクター「エコまる」、ライオンの「ライオンちゃん」、トヨタ自動車の「エコバ君」、そして謎の「エコ忍者」も駆けつけ、本イベントを大いに盛り上げました。



子どもたちによる司会



キャラクターたちも子どもたちと一緒に参加



全国フェスティバルの運営には、こどもエコクラブ OB・OG の All Japan Youth Eco-club メンバーや早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス等が手伝ってくれました。

## 交流タイム

メンバーの緊張をほぐし全国の仲間と楽しく交流できるよう All Japan Youth Eco-club のお兄さん・お姉さんが企画・進行を務めた「ともだちなんにん できるかな!？」を行いました。メンバーは、オリジナルの名刺を使って制限時間内になるべく多くの仲間と自己紹介をしながら交流を深めました。6ブロック(地域)に分けられた日本地図の全国制覇を目指して、休憩中やお昼休みにも積極的に名刺交換を行いました。



## こどもエコクラブ大賞 予選

メンバーたちは、赤・青・黄・緑・紫・白の6つのチームに分かれて、日頃行っている環境活動をまとめた壁新聞をもとに、それぞれのクラブが発表を行いました。みんなが分かりやすいよう、手作りのパネルやさまざまな小道具を使って発表するクラブ、クイズ形式で発表するクラブなど、どのクラブもさまざまな工夫を凝らし、自分たちが一年間行ってきた環境活動をアピールしました。チーム内の発表が終わると、チームの代表として本選に出場するクラブを投票により決定しました。

チーム予選の進行を子どもたちと年齢に近い All Japan Youth Eco-club のメンバーと早稲田大学の環境ロドリゲスの学生が行うことによって、活気あふれる予選となりました。子どもたちはもちろん、All Japan Youth Eco-club のメンバーや環境ロドリゲスの学生たちも、子どもたちの活動を知ることによって、たくさんの刺激を受け、活動意欲を高めました。



### ◎ 本選出場クラブ

- ・真岡児童館やさしクラブ (栃木県)
- ・イオン鈴鹿チアーズクラブ (三重県)
- ・港南台自然観察クラブ・クロロ (神奈川県)
- ・水俣市立水俣第二中学校 環境 ISO 委員会 (熊本県)
- ・上田エコクラブ (新潟県)
- ・イオン鹿児島店チアーズクラブ (鹿児島県)

### 絵日記受賞メンバー ディスカッションとスペシャル授業

絵日記部門受賞メンバーは、日本環境協会「こども環境相談室」の岡本相談員のファシリテートにより、一番思い出に残った活動を描いた絵日記を発表し、その絵日記について岡本さんからの講評を受けたり、質疑応答をしたりして、それぞれの活動を振り返りました。

ディスカッションの後は、今日だけのスペシャル授業で「水のふしぎ」を学びました。お金(1・5・10円玉)が水に浮かぶかどうか実験をし、アメンボがなぜ水の上に浮かんでいられるかのお話がありました。その他にも、ペットボトルとお魚型の醤油さしを使って、水の中での「浮力」と「圧力」を学ぶ浮沈子工作などを楽しく行いました。



## 企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！

こどもエコクラブを応援している企業・団体の展示ブースを見学して、環境に優しい様々な取り組みについて学びました。企業・団体が取り組んでいる最新の活動について、ご担当の方から直接話を聞いたり質問したりすることによって、子どもたちの興味関心から新たな発見や社会全体が地球環境を良くするために取り組んでいることを実感しました。

子どもたちは、それぞれのブースを取材して学んだこと・感じたことを書きとめ、「こどもエコクラブから各企業・団体へのメッセージ」として、日本地図の上に貼って展示しました。子どもたちのメッセージは、参加した企業・団体に届けられ、今後の環境にかかる活動の参考にしていただきます。



## ● 企業・団体の出展内容

### 株式会社エフピコ

使用済みトレーをトレーにリサイクルする「トレー to トレー」や「ボトル to トレー」と、国内のリサイクル工場の紹介を通じて、リサイクルの大切さを学びました。



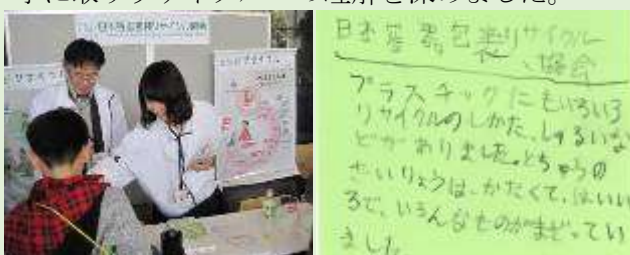
### トヨタ自動車株式会社

水素を燃料とする究極のエコカー「MIRAI」が動く仕組みや、MIRAI の模型や実験を通じて CO<sub>2</sub> を排出しない燃料電池について学びました。



### 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

プラスチック製容器包装や PET ボトルのリサイクル工程の紹介、再生過程のペレットや繊維を手に取りリサイクルへの理解を深めました。



### 株式会社三井住友銀行

エコ活動を行う企業・団体に低利子で融資を行っているお話や環境にやさしいお金の使い方を学び、地球へのメッセージを書きました。



### 株式会社イトーキ

地域材や国産材を家具などに活用し、日本の林業の再生と森林を活性化する取り組み「Econifa」や、水源の森を守る取り組みについて学びました。



イトーキ、おもしろい取り組み  
いろいろ日本の木を使って  
家具や小物などを作って  
いて、良い活動だと思います。

### 三井化学株式会社

自動車部材を軽くすることでどう環境にやさしいか、海洋に流出した油を吸い取る実験を通じて、化学の力で環境を守る取り組みを学びました。



「三井化学」  
油が油で吸った時に、  
オイルアブソーバーで油だけを吸いとる  
ので便利でびっくりしました。  
実際に実験してみたら、本当に油だけ  
吸って、水がきれいになったので、  
びっくりです。  
体験良かったです。

しゃもじも木がくっつかないもので  
びっくりしました。

### 王子ホールディングス株式会社

木材を供給したり、水を保持したり、CO<sub>2</sub>を吸収したりする森の役割や、森林を「守り・育て、活かす」取り組み、紙のリサイクルについて学びました。



王子ホールディングス  
森のリサイクルを学ばせて  
くれたのが、こんな風にして  
びっくりしました。  
私も森を大切にしよう  
と思いました。

### 文化シヤッター株式会社

木材とプラスチックを再利用し、建築材料として生まれ変わった「テクモク」を通じて、資源の大切さや廃棄物を減らす仕組みをご紹介します。



テクモクは  
プラスチックのリサイクルと  
かんばつ材の利用と  
2ついいことがある。  
すごいいいと思います。

### ミールケア株式会社

食と環境とのつながりを学ぶ体験フィールド「いきものみつけファーム」の取り組みと、大豆を使って正しいお箸の持ち方を学びました。



ここからは生ごみが  
ごみ袋のように、給食  
などでもかんばつ食  
た)

### 三井住友海上火災保険株式会社

ラムサール条約に登録されている湿地を中心とした水辺の環境保全活動について学びました。コハクチョウの渡る距離や重さを知りビックリしていました。



渡り鳥が  
安心して  
わたれる  
環境を!

### ライオン株式会社

雨水の有効活用を募集した「雨活アイデアコンクール」の作品等を通じて、水資源の大切さや雨水の活用方法などを深く考えました。



雨水の利用を  
あんなに深く考えた  
ことがなかった  
けど、みんなのアイデア  
を見て、何か考える  
おもしろいと思う。

### 三井不動産株式会社

元気な森を育てるには何が必要か、「育てて」「使って」「植えて」をポイントに学びました。間伐材を使用したしおり作りにもチャレンジしました。



三井不動産  
木を木のために  
つかう木を  
とって、木を  
つくる



## エコマーク事務局

子どもたちの身近にあるエコマーク商品を実際に手に取り、どんなところが環境にやさしいのか、商品選ぶときにできるエコについて考えました。



エコマーク事務局  
ここからエコマークを  
見てかい物したいと思  
いました。



## 企業展示

こどもエコクラブを応援している「タカラトミー」と「三菱電機」からは、環境への取り組みを展示いただきました。



## ユース等の展示

「All Japan Youth Eco-club」や「早稲田大学環境NPO環境ロドリゲス」、「東京首都大学 伊坪研究室」もそれぞれの活動を紹介しました。



## 昼食

早稲田大学のカフェテリアでランチタイム！東京都水道局から「東京水」をご提供いただきました。



## こどもエコクラブ大賞 本選

みんなで選ぶ「こどもエコクラブ大賞」の本選発表！各チームから選ばれた6クラブは、参加者全員を前にステージ上で堂々と活動発表を行いました。それぞれのクラブによる創意工夫にあふれた発表と高いプレゼン力に、会場からは驚きの声が上がるとともに、次の活動につなげようと子どもたちはしっかりメモを取りながら発表を聞きました。



**赤チーム** 代表：イオン鈴鹿チアーズクラブ(三重県)

壁新聞タイトル：「大豆の旅」

活動テーマ：「大豆の一生を学んだ！育てて、食べて、健康に！」



**青チーム** 代表：水俣市立水俣第二中学校  
環境 ISO 委員会(熊本県)

壁新聞タイトル：「二中から未来へ」

活動テーマ：「水俣二中の取組について」



**黄チーム** 代表: 上田エコクラブ (新潟県)

壁新聞タイトル: 「登川とわたしたちの暮らし」

活動テーマ: 「わたしたちの命を支える川 登川」



**緑チーム** 代表: 真岡児童館やさしクラブ (栃木県)

壁新聞タイトル: 「『輪』エコでつながる希望の環」

活動テーマ: 「『人』のあたたかさを知る」



**紫チーム** 代表: 港南台自然観察クラブ・クロロ (神奈川県)

壁新聞タイトル: 「団地の生きものさがし 2015」

活動テーマ: 「身近な自然に親しみ、学び、守る活動を通して、自分たちのライフスタイルを見直す」



**白チーム** 代表: イオン鹿児島店チアーズクラブ (鹿児島県)

壁新聞タイトル: 「くろぶ〜の植物探検」

活動テーマ: 「植物」

各クラブの発表の後には、聞いていて疑問に思ったことや、良かったところなどの感想などの質疑応答を行い、発表内容の理解を深めました。



## 投票

本選発表中は、参加者全員が審査員になって、「楽しそうな活動か」「自分たちもやってみたい活動か」「発表はわかりやすかったか」の3項目について、1項目5点満点で採点しました。一人ひとりに配られたスーパーボールを、自分が一番良かったと思うクラブに投票し、みんなで「こどもエコクラブ大賞」を決定しました。

※投票BOXを計量し大賞を決定しました。子ども:大玉(36グラム)、大人:小玉(8グラム)を配付。



## 来賓の挨拶



環境省 総合環境政策局長 三好 信俊様が会場に駆けつけ、子どもたちの活動発表をご覧いただくとともに、全国から集まった子どもたちに向けて、環境活動の大切さや、環境省としても全面的にみんなを応援していることなど、心強いメッセージをいただきました。

## 表彰式

1年間の活動についてまとめた壁新聞や、1年間の活動で印象に残った活動・みんなに伝えたい活動を描いた絵日記をもとに、地域の特性を生かした活動や独自の発想で活動を行っているクラブ・メンバーに対して、環境大臣賞をはじめとする各賞が贈られました。



壁新聞部門 環境大臣賞:HEP21 エコクラブ

### 壁新聞部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
環境大臣賞	HEP21 エコクラブ(青森県弘前市)
文部科学大臣賞	西表ヤマネコクラブ(沖縄県竹富町)
日本環境協会賞	エコまめクラブ(福岡県筑紫野市)
三井住友銀行賞	水俣市水俣第二中学校 環境 ISO 委員会(熊本県水俣市)
朝日新聞社賞	真岡児童館やさしクラブ(栃木県真岡市)
早稲田大学賞	こどもエコクラブくしろ(北海道釧路市)※都合により欠席
エコマーク賞	香美市こどもエコクラブ みどレンジャー(高知県香美市)



文部科学大臣賞:HEP21 エコクラブ



日本環境協会賞:エコまめクラブ



三井住友銀行賞:水俣市立水俣第二中学校 環境 ISO 委員会



朝日新聞社賞:真岡児童館やさしクラブ



エコマーク賞:  
香美市こどもエコクラブ みどレンジャー



早稲田大学賞:こどもエコクラブくしろ  
※受賞クラブは都合により欠席。  
早稲田大学環境総合研究センター所長勝田様からお祝いのお言葉をいただきました。

絵日記部門 受賞メンバー

賞名	クラブ名	名前
優秀賞	東峰エコキッズ(栃木県宇都宮市)	羽石 春花さん
優秀賞	YKM(静岡県御殿場市)	高村 謙司郎さん
優秀賞	YKM(静岡県御殿場市)	高村 百合子さん
優秀賞	もりの学舎キッズクラブ(2015年度)(愛知県長久手市)	笹本 千騎さん
優秀賞	岡山ハッケンジャー(岡山県岡山市)	佐桑 幹太さん
優秀賞	YONAGO ジャングルエコ探検(鳥取県米子市)	三國 蘭花さん
優秀賞	水俣第一小学校子どもエコクラブ(熊本県水俣市)	武藤 あみさん



表彰状・副賞の授与



左:羽石 春花さん  
右:子どもエコクラブ全国事務局長 川村



左:高村 百合子さん  
中:高村 謙司郎さん



笹本 千騎さん



佐桑 幹太さん



三國 蘭花さん



武藤 あみさん

● 受賞作品一覧

壁新聞



◆環境大臣賞

「HEP21 エコクラブ」(青森県弘前市)

- 壁新聞タイトル:「ぼくたちとだんぶり池の仲間たち」
- 活動テーマ:「できる時にできる人ができる環境活動を楽しくやろう」



◆文部科学大臣賞

「西表ヤマネコクラブ」(沖縄県竹富町)

- 壁新聞タイトル:「西表山猫新聞」
- 活動テーマ:「西表のことをもっと知りたい・調べたい・きれいにしたい」

# 壁新聞



◆日本環境協会賞  
 「エコまめクラブ」(福岡県筑紫野市)  
 ○壁新聞タイトル:「ザリガニ獲ったどお〜食べたどお〜」  
 ○活動テーマ:「生物多様性(外来生物の駆除)」



◆三井住友銀行賞  
 「水俣市立水俣第二中学校 環境ISO委員会」(熊本県水俣市)  
 ○壁新聞タイトル:「二中から未来へ」  
 ○活動テーマ:「水俣二中の取組について」



◆朝日新聞社賞  
 「真岡児童館やさしクラブ」(栃木県真岡市)  
 ○壁新聞タイトル:  
 「『輪』エコでつながる希望の環」  
 ○活動テーマ:  
 「『人』のあたたかさを知る」



◆早稲田大学賞  
 「子どもエコクラブくしろ」(北海道釧路市)  
 ○壁新聞タイトル:  
 「エコ通信釧路湿原から2015」  
 ○活動テーマ:  
 「湿原も動植物も私たちも共に生きる環境を守るために」



◆エコマーク賞  
 「香美市子どもエコクラブ みどレンジャー」(高知県香美市)  
 ○壁新聞タイトル:  
 「みどレンジャー  
 自然を知る!!エコな知恵を学ぶ!!  
 自然をまもる!!みんなに伝える!!」  
 ○活動テーマ:  
 「緑いっぱい地球!」

# 絵日記



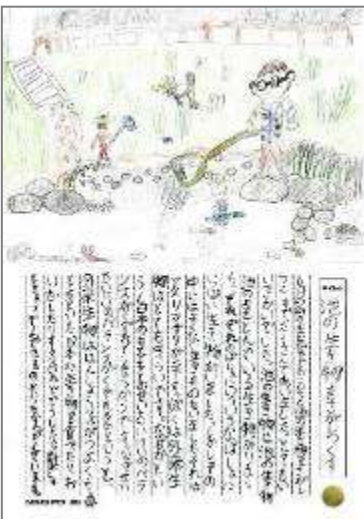
タイトル：ザリガニのあかちゃん  
 ・東峰エコキッズ  
 羽石 春花さん（栃木県宇都宮市）



タイトル：下水もきれい、ごてんば  
 ・YKM  
 高村 謙司郎さん（静岡県御殿場市）



タイトル：育てて食べて学んだ一年  
 （農業体験）  
 ・YKM  
 高村 百合子さん（静岡県御殿場市）



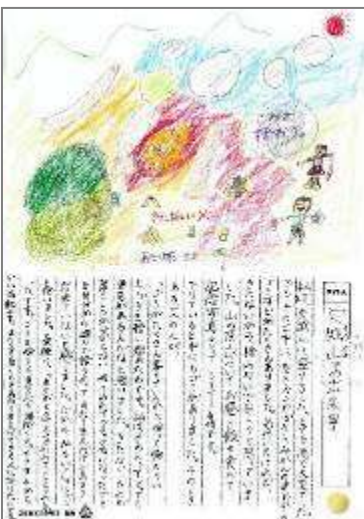
タイトル：池の生き物をさがしつくす  
 ・もりの学舎キッズクラブ(2015年度)  
 笹本 千騎さん（愛知県長久手市）



タイトル：光るホタルたち  
 ・岡山ハッケンジャー  
 佐桑 幹太さん（岡山県岡山市）



タイトル：自然にふれあえる  
 岸本ガーデンプレイス  
 ・YONAGO ジャングルエコ探検  
 三國 蘭花さん（鳥取県米子市）



タイトル：矢城山での出来事  
 ・水俣第一小学校こどもエコクラブ  
 武藤 あみさん（熊本県水俣市）



## ○ 幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与

全国フェスティバルへの参加が難しい、保育園・幼稚園のクラブなどメンバー全員が幼児のクラブには、別途審査を行い、上位 2 クラブに株式会社ミールケアのご提供により「ミールケア・エコまる賞」を贈呈しました。受賞クラブの活動場所に「エコまる」が出向いて、表彰状と絵本『こんもり森のまほうのレストラン』を授与し、メンバーと一緒に体験プログラムを実施しました。



東峰エコキッズ(栃木県宇都宮市)

○壁新聞タイトル

「おいしいとちおとめができたよ」

体験プログラムのように

※社会福祉法人 久祐会 東峰保育園にて  
ミールケアの「トマッピ」も駆けつけました。

栃木県、宇都宮市、環境学習センターのご担当もご参加いただきました。



さくらほりくえん つきぐみ スマイルクラブ

(千葉県佐倉市)

○壁新聞タイトル

「さくらほりくえん つきぐみ スマイル新聞」

体験プログラムのように

※佐倉市立佐倉保育園にて

千葉県、佐倉市のご担当もご参加いただきました。

## 🟢 クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定（協力:株式会社ニコン）

こどもエコクラブの元気な活動の様子や子どもたちの環境への思いを、多くの人に知ってもらうために行っている『クラブ活動フォトコンテスト』の平成 27 年度 第 1 期～第 3 期の入賞作品すべてを展示し、全国フェスティバルの参加者全員の投票によって年間賞を決定しました。



◆平成 27 年度こどもエコクラブ賞  
せいわエコクラブ(大阪府大阪市)  
「秋さがし」



◆平成 27 年度ニコン賞  
豊明エコキッズ(愛知県豊明市)  
「湿地見学後のザリガニつりが楽しかった！」




投票の様子

## 先輩からのメッセージ

設立 20 周年を迎えたこどもエコクラブの OB・OG からなる「All Japan Youth Eco-club」を結成し、こどもエコクラブで培った経験を活かし、ユース同士の交流・協働活動を通じた持続可能な地域及び社会づくりに貢献することを目指しています。

今回、全国から集まったメンバー・サポーター等に対して、ユースの取組紹介とこどもエコクラブの経験を踏まえて、今の現役メンバーに伝えたいことをリレーメッセージで贈りました。



※先輩からのメッセージは、こどもエコクラブホームページ 右下  マークをクリックするとご覧いただけます。



## クロージングセレモニー

### ◎ こどもエコクラブ大賞の発表・表彰

まずは、「こどもエコクラブ大賞」の結果発表からスタートです。

各チームの投票箱を計量した結果、鹿児島県の「イオン鹿児島店チアーズクラブ」が平成 27 年度のこどもエコクラブ大賞の栄冠に輝きました！

会場は、受賞したクラブだけでなく、あたたかい拍手でお互いの健闘を称えあいました。



- ◆こどもエコクラブ大賞  
「イオン鹿児島店チアーズクラブ」  
(鹿児島県鹿児島市)
- 壁新聞タイトル:「くろぶ〜の植物探検」
- 活動テーマ:「植物」



### ◎ こどもエコクラブ憲章・ふりかえり

最後にこどもエコクラブ憲章を読み上げ、「これからもエコ活動が続けていこう！」と誓い合いました。子どもたちは、今日一日の全国の仲間たちとの交流や活動発表、企業・団体ブースの見学で「わかったこと」「学んだこと」などをふりかえり、新たな思いを胸に「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2016 ～みんなで決める ☆こどもエコクラブ大賞！～」を閉幕しました。



### ◎ みんなで集まって集合写真



# 子どもたちからの活動レポート

全国フェスティバル終了後、地域に帰ったそれぞれのクラブは、全国フェスティバルで感じたこと、わかったこと、多くの仲間に伝えたいことなどを活動レポートにまとめました。レポートは、全国の仲間やコーディネーター（自治体担当者）等と共有するため、こどもエコクラブウェブサイト(<http://www.j-ecoclub.jp/>)にて紹介しています。



# サポーターからの声(一部抜粋)

全国で活動しているクラブと交流できる機会は、こどもエコクラブならではの、これからも子どもたちのために、機会を作ってください。

すべての子ども達がエコについて真剣に考えていることがすごく伝わってきました。壁新聞・絵日記ともに工夫され、実物をそばで見ることが出来、とても勉強になりました。みんなの投票で賞を決めたのも、とても良いと思います。

全国各地の取り組みや、企業の取り組みなど、様々なことを知ることができ、とても勉強になった。

## 代表クラブ一覧

都道府県	市区町村	クラブ名	壁新聞タイトル
北海道	釧路市	こどもエコクラブくしろ※都合により欠席	エコ通信 釧路湿原から 2015
青森県	弘前市	HEP21 エコクラブ	ぼくたちとたんぶり池の仲間たち
岩手県	—	—	—
宮城県	石巻市	イオン石巻チアーズクラブ	STOP 地球温暖化～みんなで救おうぼくらの地球
秋田県	秋田市	マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	GREEN UP!! 自然と文化 驚異の旅in秋田 2015
山形県	—	—	—
福島県	郡山市	湖南エコクラブ	湖南エコクラブ新聞
茨城県	水戸市	しんそう世界だいすきクラブ	いのちのつながりを学ぼう
茨城県	水戸市	かみおおのアースレンジャー※	上大野の自然大発見新聞
栃木県	真岡市	真岡児童館やさしクラブ	「輪」エコでつながる希望の環
群馬県	沼田市	しらさわエコキッズクラブ	尾瀬へ行こう・しらエコ活動報告・みどりをふやそうぜ
埼玉県	三芳町	竹の子エコクラブ	竹の子エコ新聞 2015
千葉県	—	※全て幼児クラブの壁新聞だったため参加クラブなし	
東京都	青梅市	おうめこどもエコクラブ	自然の恵みありがとう
神奈川県	横浜市	港南台自然観察クラブ・クロロ	団地の生きものさがし2015
新潟県	南魚沼市	上田エコクラブ	登川とわたしたちのくらし
富山県	—	※全て幼児クラブの壁新聞だったため参加クラブなし	
石川県	—	—	—
福井県	—	※参加辞退により該当クラブなし	
山梨県	甲府市	和泉エコクラブ	山梨エコエコ新聞
長野県	—	—	—
岐阜県	飛騨市	一般社団法人 飛騨シュール	①鉛筆かべしんぶん、②一日のエコ新聞
静岡県	静岡市	イオン清水チアーズクラブ B	静岡の資源と太陽のつながり
愛知県	豊明市	豊明エコキッズ	豊明エコキッズ2015
三重県	明和町	イオン明和チアーズクラブ	植物その1(斎宮のまわりの植物にふれて)
三重県	鈴鹿市	イオン鈴鹿チアーズクラブ※	大豆の旅
滋賀県	草津市	NPO 子どもネットワークセンター天気村 こんぺいどうクラブ	地球はでっかい遊び場!びわこ銀河鉄道チビ旅
京都府	京都市	西京極児童館自然探検隊 2004	京都市内で見られる鳥図鑑
大阪府	大阪市	せいわエコクラブ	たのしもうエコクラブ
兵庫県	神戸市	玉一アクアリウム	校区内の明石川水系の勢力分布図
奈良県	—	—	—
和歌山県	有田川町	あでやか、安諦小、花と自然大好きっ子	花とほたる大好きっ子新聞
鳥取県	米子市	福米東小エコ隊	中海が教えてくれたこと
島根県	出雲市	上津探検隊	ケロケロカエル調査新聞IV
岡山県	岡山市	岡山ハッケンジャー	岡山ハッケン新聞
広島県	福山市	めだかの学校	遊びにおいて!芦田川は楽しいよ!
山口県	—	—	—
徳島県	三好市	ホテルと共に暮らし隊	ホテル新聞
香川県	—	※参加辞退により該当クラブなし	
愛媛県	新居浜市	レインボーキッズ	恵みを感じて守るえひめの自然
高知県	香美市	香美市こどもエコクラブ みどレンジャー	みどレンジャー 自然を知る!!エコな知恵を学ぶ!! 自然をまもる!!みんなに伝える!!
福岡県	筑紫野市	エコまめクラブ	ザリガニ獲ったどお～食べたどお～ ～アメリカザリガニ捕獲大作戦に参加したよ～
佐賀県	—	—	—
長崎県	平戸市	下里エコクラブ	下里エコクラブ
熊本県	水俣市	水俣市立水俣第二中学校 環境 ISO 委員会	二中から未来へ
大分県	大分市	大分県立大分東高等学校リポベジ研究会	リポベジ研究会
宮崎県	—	—	—
鹿児島県	鹿児島市	イオン鹿児島店チアーズクラブ	くろぶ～の植物探検
沖縄県	竹富町	西表ヤマネコクラブ	西表山猫新聞

※は審査員推薦クラブ

## 広報・普及活動

多くの方々に全国フェスティバルの周知を図るため、さまざまな手法を用いて広報活動を行いました。

- ・子どもエコクラブホームページ、SNS、メールリスト等にて、全国の登録クラブ及び地方自治体等へ発信。
- ・公益財団法人日本環境協会 プレスリリース
- ・環境省、文部科学省等の記者クラブへのリリース
- ・地方自治体、環境関連施設、環境団体等へのリリース
- ・子どもエコクラブ パートナー企業・団体へのリリース など

都道府県代表のクラブの紹介等、全国フェスティバルに関連する情報は、メディアや各地方自治体、パートナー企業・団体、環境関連施設、環境団体、教育委員会等によって、様々な媒体において掲載されました。

### ◆地方自治体(一部抜粋)



青森県(2016.2.22)



北海道釧路市(2016.2)



千葉県佐倉市  
ミールケア・エコまる賞(2016.3.4)



新潟県県政ニュース(2016.3.15)



福岡県 (2016.3.15)



静岡県(2016.3.25)

### ◆メディア(一部抜粋)



陸奥新報(2016.3.21)



沖縄タイムス・YAHOO! ニュース(2016.3.22)





八重山毎日新聞  
竹富町長表敬訪問 (2016.3.22)



西日本新聞 (2016.4.6)



西日本新聞 (2016.4.6)



下野新聞  
ミールケア・エコまる賞 (2016.4.23)



横浜タウン新聞 (2016.4.15)

◆企業・団体等(一部抜粋)



公益財団法人  
日本容器包装リサイクル協会 (2016.3.11)



三井化学株式会社  
(2016.3.24)



株式会社三井住友銀行 (2016. 3.24)



三井住友海上火災保険  
株式会社  
(2016.3.25)  
※MS&AD ラムサール  
サポーターズ Facebook



株式会社イトーキ  
(2016.4.7)



トヨタ自動車株式会社  
(2016.4.4)



ライオン株式会社 (2016.4.26)

『こどもエコクラブ全国フェスティバル 2016 ～みんなで決める☆こどもエコクラブ大賞～』の開催に際し、  
子どもたちの環境活動を応援する企業・団体からご支援・ご協力をいただきました。

#### ◆後援

環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、こども環境学会、  
全国小中学校環境教育研究会、日本容器包装リサイクル協会、NHK

#### ◆出展企業・団体

イトーキ、エフピコ、王子ホールディングス、トヨタ自動車、文化シャッター、日本容器包装リサイクル協会、  
ミールケア、三井化学、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井不動産、ライオン、エコマーク事務局

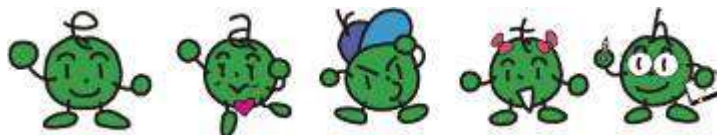
#### ◆協力

井筒まい泉、タカラトミー、東京都水道局、ニコン、三菱電機、龍角散

#### ●こどもエコクラブは、多くの企業・団体の支援により活動しております。

アマノ	アライアンス	イトーキ	エコスグループ
エコ・ファースト推進協議会	エフピコ	王子ホールディングス	岡山東法人会
共立駐車場	キリン	コカ・コーラウエスト	島村楽器
清水建設	住商フーズ	世界貿易センタービルディング	積水化学工業
全労済	総合ハウジングサービス	高杉製菓	タカラトミー
チェンジフィールド	鉄建建設	東京交通会館	東京国際フォーラム
東京建物	東京都民銀行	東芝	東洋ライス
トヨタ自動車	ニコン	西日本ビル代行	日本容器包装リサイクル協会
長谷工コーポレーション	バンダイナムコホールディングス	富国運輸	ブリヂストン
プロントコーポレーション	文化シャッター	ミールケア	三井化学
三井住友海上火災保険	三井住友銀行	三井不動産	三菱地所
三菱電機	山田養蜂場	ライオン	リッキーシステムソリューション
龍角散	ロックペイント		

(五十音順・2016年3月現在)



#### ■ 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F

TEL:03-5643-6251 FAX:03-5643-6250

こどもエコクラブウェブサイト <http://www.j-ecoclub.jp/>